

# 手術前に服用中止を考慮すべき医薬品 (リスク分類:出血・乳酸ケトアシドーシス・SGLT-2阻害薬によるケトアシドーシス)

代表的な薬剤名称	一般名称	リスク分類	製品写真	中止期間(目安)
①ワーファリン錠0.5mg、1mg、5mg	ワルファリンカリウム	出血		3~5日
②ヘパリンカルシウム皮下注 5千単位 (持続点滴を除く)	ヘパリンカルシウム	出血		12時間
③プラザキサカペル75mg、110mg	ダビガトランエテキシラート	出血		1~4日 (Cor50以上:1~2日 Cor30~49:2~4日) (硬膜外麻酔、脊髄も膜下麻酔では2日以上)
④イグザレルト錠10mg、15mg	リバーロキサバン	出血		1~2日
⑤リクシアナ錠15mg、30mg、60mg	エドキサバン	出血		1~2日
⑥エリキュース錠2.5mg、5mg	アピキサバン	出血		1~2日
⑦バイアスピリン錠100mg	アスピリン	出血		7日
⑧バナルジン錠100mg	チクロビジン塩酸塩	出血		7~14日 (硬膜外麻酔、脊髄も膜下麻酔では10~14日)
⑨プラピックス錠25mg、75mg	クロビドグレル	出血		7~14日 (硬膜外麻酔、脊髄も膜下麻酔では10~14日)
⑩エフィエント錠2.5mg、3.75mg 5mg、20mg	プラスグレル塩酸塩	出血		7~14日 (硬膜外麻酔、脊髄も膜下麻酔では10~14日)
⑪ブリリント錠80mg、90mg	チカグレロル	出血		5日
⑫プレタールOD錠50mg、100mg	シロスタゾール	出血		1~3日 (硬膜外麻酔、脊髄も膜下麻酔では2日)
⑬エバデールS300、600、900 エバデールカプセル300mg	イコサベント酸エチル	出血		7日
⑭ロトリガ粒状カプセル	オメガ3脂肪酸	出血		7日
⑮ドルナー錠20μg	ペラプロストナトリウム	出血		1日
⑯アンプラーグ錠50mg、100mg	サルボグレラート塩酸塩	出血		1日
⑰セロクラール錠10mg、20mg	イフェンプロジル酒石酸塩	出血		2日
⑱サアミオン錠5mg	ニセルゴリン	出血		1日
⑲ケタスカプセル10mg	イブジラスト	出血		3日

代表的な薬剤名称	一般名称	リスク分類	製品写真	中止期間(目安)
⑳トラピジル錠50mg、100mg	トラピジル	出血		2日
㉑ペルサンチン錠25mg、100mg	ジビリダモール	出血		2日
㉒コメリアンコーワ錠50、100	ジラゼブ塩酸塩水和物	出血		2日
㉓プロレナール錠5μg	リマプロストアルファデクス	出血		1日
㉔メトグルコ錠250mg、500mg	メトホルミン塩酸塩	乳酸 アシドーシス		2日
㉕ジペトス錠50mg	ブホルミン塩酸塩	乳酸 アシドーシス		2日
㉖スーグラ錠25mg、50mg	イブラグリフロジン	ケト アシドーシス		3日
㉗フォシーガ錠5mg、10mg	ダバグリフロジン	ケト アシドーシス		3日
㉘ルセフィ錠2.5mg、5mg	ルセオグリフロジン	ケト アシドーシス		3日
㉙デベルザ錠20mg	トホグリフロジン	ケト アシドーシス		3日
㉚カナグル錠100mg	カナグリフロジン	ケト アシドーシス		3日
㉛ジャディアンス10mg、25mg	エンバグリフロジン	ケト アシドーシス		3日

●サプリメントの取り扱いについて  
エフェドラ(マウ)、魚油、セイヨウオトギリソウ(セントジョンズワート)が含まれるものは必ず中止。  
その他のものは基本的に全て中止とするが、難しい場合は主治医判断とする。

手術の決まった時点から中止とし、中止期間は問わないものとする。

●再開時期記載のない薬剤は主治医の判断による

●中止薬一覧以外の薬剤(免疫抑制薬や糖尿病治療薬など)は主治医の判断とする。

※SGLT-2阻害薬は糖尿病薬であるが、日本糖尿病学会より提言があり休業期間が3日であるため一覧へ掲載とした。

## ・参考文献

添付文書(製薬会社からの回答含む)  
ワーファリン適正使用情報第3版

心房細動治療(薬物)ガイドライン(2013改訂版)

循環器疾患における抗凝固・抗血小板療法に関するガイドライン(2009年改訂版)

抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン(2012年版)

周術期管理チームティキスト第4版、手術医療の実践ガイドライン(2013年改訂版)

産婦人科診療ガイドライン(2017年版)

日本糖尿病学会「SGLT2阻害薬の適正使用に関する Recommendation」(2020年)

## ・監修

小谷医師(内科)、小菅医師(内科)、江藤医師(内科)、武藤医師(整形外科)、平出医師(整形外科)  
藤川医師(婦人科)、甫母医師(麻酔科)、小林医師(麻酔科)、大竹医師(麻酔科)

# 手術前に服用中止を考慮すべき医薬品 (リスク分類: 血栓症) ~女性ホルモン関連薬~

代表的な薬剤名称	一般名称・分類	リスク分類	製品写真	中止期間(目安)	休薬について	備考
㉑ノルバデックス錠10mg、20mg	タモキシフェン	血栓症		手術前3週間、手術後3週間	添付文書:記載なし メーカー回答:休薬の必要なし 周術期管理チームテキスト第4版:術前3週間、術後3週間	麻酔科医師意見も参考に期間設定
㉒フェアストン錠40mg、60mg	トレミフェン	血栓症		手術前3週間、手術後3週間	添付文書:記載なし メーカー回答:中止基準は設けていない 周術期管理チームテキスト第4版:術前3週間、術後3週間	「抗エストロゲン剤」に分類され、タモキシフェンと同様に中止を考慮すべき医薬品と規定(2020.5追加) (産婦人科 藤川医師、麻酔科 大竹医師確認)
㉓フェソロデックス筋注250mg	フルペストラント	血栓症		手術前3週間、手術後3週間	添付文書:記載なし メーカー回答:中止基準は設けていない 周術期管理チームテキスト第4版:術前3週間、術後3週間	「抗エストロゲン剤」に分類され、タモキシフェンと同様に中止を考慮すべき医薬品と規定(2020.5追加) (産婦人科 藤川医師、麻酔科 大竹医師確認)
㉔【黄体ホルモン製剤(高用量)】	その他の黄体ホルモン高用量は薬剤対応一覧表(薬効順)参照	血栓症		手術前4週間、手術後2週間 産後4週間	添付文書:手術後1週間以内 メーカー回答:手術前4週以内、術後1週以内 周術期管理チームテキスト第4版:術後1週間	産婦人科 藤川医師の意見も参考に期間設定
㉕【黄体ホルモン製剤】	その他の黄体ホルモンは薬剤対応一覧表(薬効順)参照	血栓症		手術前4週間、手術後2週間 産後4週間	添付文書:記載なし メーカー回答:中止基準は設けていない 周術期管理チームテキスト第4版:術後1週間	産婦人科 藤川医師の意見も参考に期間設定
㉖【卵胞ホルモン】	その他の卵胞ホルモンは薬剤対応一覧表(薬効順)参照	血栓症		手術前4週間、手術後2週間 産後4週間	添付文書:プレマリンのみ手術前4週以内 その他卵胞ホルモン記載無し メーカー回答:中止基準は設けていない 周術期管理チームテキスト第4版:4週間	産婦人科 藤川医師の意見も参考に期間設定
㉗プラノバール錠	ノルゲストレル・エチニルエストラジオール	血栓症		手術前4週間、手術後2週間 産後4週間	添付文書:記載なし メーカー回答:基本的には無し 周術期管理チームテキスト第4版:術前4週間、術後2週間	産婦人科 藤川医師の意見も参考に期間設定
㉘ヤーズフレックス配合錠	ドロスピレノン・エチニルエストラジオール	血栓症		手術前4週間、手術後2週間 産後4週間	添付文書:手術前4週以内、術後2週以内、産後4週以内 メーカー回答:中止基準は設けていない 周術期管理チームテキスト第4版:記載なし	産婦人科 藤川医師の意見も参考に期間設定
㉙ルナベル配合錠	ノルエチステロン・エチニルエストラジオール	血栓症		手術前4週間、手術後2週間 産後4週間	添付文書:手術前4週以内、術後2週以内、産後4週以内 メーカー回答:中止基準は設けていない 周術期管理チームテキスト第4版:術前4週間、術後2週間	産婦人科 藤川医師の意見も参考に期間設定
㉚マーベロン21、マーベロン28	デソゲストレル・エチニルエストラジオール	血栓症		手術前4週間、手術後2週間 産後4週間	添付文書:手術前4週以内、術後2週以内、産後4週以内 メーカー回答:中止基準は設けていない 周術期管理チームテキスト第4版:術前4週間、術後2週間	産婦人科 藤川医師の意見も参考に期間設定
㉛メノエイドコンビパッチ	エストラジオール・ノルエチステロン	血栓症		手術前4週間、手術後2週間 産後4週間	添付文書:記載なし メーカー回答:施設基準による 周術期管理チームテキスト第4版:記載なし	産婦人科 藤川医師の意見も参考に期間設定 (合剤なので他の経口避妊薬にならって問題ないが、肝初回通過がないのでリスクは低いと思われるとのこと)
㉜ビビアント錠20mg	バゼドキシフェン	血栓症		3日	添付文書:記載なし メーカー回答:4日(半減期) 周術期管理チームテキスト第4版:3日	整形外科医師の意見も参考に期間設定
㉝エピスタ錠60mg	ラロキシフェン塩酸塩	血栓症		3日	添付文書:3日 メーカー回答:3日 周術期管理チームテキスト第4版:3日	整形外科医師の意見も参考に期間設定

- サブリメントの取り扱いについて  
エフェドライマオウ、魚油、セイヨウオトギリソウ(セントジョンズワート)が含まれるものは必ず中止。  
その他のものは基本的に全て中止とするが、難しい場合は主治医判断とする。  
手術の決まった時点から中止とし、中止期間は問わないものとする。
- 再開時期記載のない薬剤は主治医の判断による
- 中止薬一覧以外の薬剤(免疫抑制薬や糖尿病治療薬など)は主治医の判断とする。  
※SGLT-2阻害薬は糖尿病薬であるが、日本糖尿病学会より提言があり休薬期間が3日であるため一覧へ掲載とした。

参考文献  
添付文書(製薬会社からの回答含む)、ワーファリン適正使用情報第3版  
心房細動治療(薬物)ガイドライン(2013改訂版)、循環器疾患における抗凝固・抗血小板療法に関するガイドライン(2009年改訂版)  
抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン(2012年版)、周術期管理チームテキスト第4版、  
手術医療の実践ガイドライン(2013年改訂版)、産婦人科診療ガイドライン(2017年版)  
糖尿病学会「SGLT2阻害薬の適正使用に関する Recommendation」(2020年)  
・監修  
小谷医師(内科)、小菅医師(内科)、江藤医師(内科)、武藤医師(整形外科)、平出医師(整形外科)  
藤川医師(婦人科)、甫母医師(麻酔科)、小林医師(麻酔科)、大竹医師(麻酔科)

# 消化器内視鏡前に服用中止を考慮すべき医薬品(1/2)

代表的な薬剤名称	一般名称	リスク分類	製品写真	中止期間(目安)
①ワーファリン錠0.5mg、1mg、5mg ワルファリンカリウム	出血			休薬不要(※①～③) 3～5日(※④)→ヘパリン置換
②ヘパリンカルシウム皮下注 5千単位 (持続点滴を除く)	ヘパリンカルシウム	出血		休薬不要(※①～③) 12時間(※④)
③プラザキサカプセル75mg、110mg	ダビガトランエテキシラート	出血	 	休薬不要(※①～③) 1～2日(※④)→ヘパリン置換
④イグザレルト錠10mg、15mg	リバーロキサバン	出血	 	休薬不要(※①～③) 1～2日(※④)→ヘパリン置換
⑤リクシアナ錠15mg、30mg、60mg エドキサバン	出血	  	 	休薬不要(※①～③) 1～2日(※④)→ヘパリン置換
⑥エリキュース錠2.5mg、5mg	アピキサバン	出血	 	休薬不要(※①～③) 1～2日(※④)→ヘパリン置換
⑦バイアスピリン錠100mg	アスピリン	出血	 	休薬不要(※①～③) 3～5日(※④) 他剤併用時(血栓症高リスク)はアスピリンのみ休薬不要
⑧パナルジン錠100mg	チクロピジン塩酸塩	出血	 	休薬不要(※①～③) 5～7日(※④)
⑨プラビックス錠25mg、75mg	クロピドグレル	出血	 	休薬不要(※①～③) 5～7日(※④)
⑩エフィエント錠2.5mg、3.75mg 5mg、20mg	プラスグレル塩酸塩	出血	   	休薬不要(※①～③) 5～7日(※④)
⑪ブリリンタ錠60mg、90mg	チカグレロル	出血	 	休薬不要(※①～③) 5日(※④)
⑫プレタールOD錠50mg、100mg	シロスタゾール	出血	 	休薬不要(※①～③) 1日(※④) 他剤併用時(血栓症高リスク)はシロスタゾールのみ休薬不要
⑬エバデールS300、600、900 エバデールカプセル300mg	イコサペント酸エチル	出血	  	休薬不要(※①～③) 1日(※④)
⑭ロトリガ粒状カプセル	オメガ3脂肪酸	出血	 	休薬不要(※①～③) 1日(※④)
⑮ドルナー錠20 μg	ペラプロストナトリウム	出血	 	休薬不要(※①～③) 1日(※④)
⑯アンプラーグ錠50mg、100mg	サルポグレラート塩酸塩	出血	 	休薬不要(※①～③) 1日(※④)

# 消化器内視鏡前に服用中止を考慮すべき医薬品(2/2)

代表的な薬剤名称	一般名称	リスク分類	製品写真	中止期間(目安)
⑪セロクラール錠10mg、20mg	イフェンプロジル酒石酸塩	出血		休薬不要(※①～③) 1日(※④)
⑫サアミオン錠5mg	ニセルゴリン	出血		休薬不要(※①～③) 1日(※④)
⑬ケタスカプセル10mg	イブジラスト	出血		休薬不要(※①～③) 1日(※④)
⑭トラビジル錠50mg、100mg	トラビジル	出血		休薬不要(※①～③) 1日(※④)
⑮ペルサンチン錠25mg、100mg	ジピリダモール	出血		休薬不要(※①～③) 1日(※④)
⑯コメリアンコーワ錠50、100	ジラゼプ塩酸塩水和物	出血		休薬不要(※①～③) 1日(※④)
⑰プロレナール錠5μg	リマプロストアルファデクス	出血		休薬不要(※①～③) 1日(※④)

## 出血危険度による消化器内視鏡の分類(①→④ほど危険度高い)

- ※ ①通常消化器内視鏡…上部消化管内視鏡(経鼻内視鏡を含む)、下部消化管内視鏡、超音波内視鏡、カプセル内視鏡、内視鏡的逆行性胆管造影  
 ②内視鏡的粘膜生検(超音波内視鏡下穿刺吸引術を除く)  
 ③出血低危険度の消化器内視鏡…バルーン内視鏡、マーキング(クリップ、高周波、点墨など)、消化管・膀胱・胆管ステント留置法(切開手技を伴わない)、内視鏡的乳頭バルーン拡張術  
 ④出血高危険度の消化器内視鏡…ポリベクトミー、内視鏡的粘膜切除術、内視鏡的粘膜下層剥離術、内視鏡的乳頭括約筋切開術、内視鏡的十二指腸乳頭切除術、超音波内視鏡下穿刺吸引術、経皮内視鏡的胃瘻造設術(胃瘻交換は中止対象にはならない)、内視鏡的食道・胃静脈瘤治療、内視鏡的消化管拡張術、内視鏡的粘膜焼灼術、その他

●再開時期記載のない薬剤は主治医の判断による

●中止薬一覧以外の薬剤(免疫抑制薬や糖尿病治療薬など)は主治医の判断とする

・参考文献

抗血栓薬服用者に対する消化器内視鏡診療ガイドライン(2012年版)

心房細動治療(薬物)ガイドライン(2013改訂版)

産婦人科診療ガイドライン(2017年版)

・監修

小谷医師(内科)、山崎武志医師(内科)、徳弘医師(内科)、山崎麻衣子医師(内科)、大竹医師(麻酔科)

## 薬剤対応一覧表（五十音順）

薬剤名称	一般名称(配合剤含む)	薬剤番号 (手術前)	薬剤番号 (内視鏡前)	薬剤名称	一般名称(配合剤含む)	薬剤番号 (手術前)	薬剤番号 (内視鏡前)
アスピリン腸溶錠	アスピリン	⑦	⑦	バイアスピリン	アスピリン	⑦	⑦
アスファネット配合錠A	アスピリン	⑦	⑦	バタラレルF	トリメタジン塩酸塩	⑩	⑩
アンジュ	低容量ビル	⑩	—	バゼドキシフェン	バゼドキシフェン	⑮	—
アンプラーグ	サルボグレラート塩酸塩	⑯	⑯	バッサン配合錠A	アスピリン	⑦	⑦
イグザレルト	リバーロキサバン	④	④	バナルジン	チクロビジン塩酸塩	⑧	⑧
イコサベントエチル	イコサベント酸口チル	⑯	⑯	ハファリン配合錠A	アスピリン	⑦	⑦
イニシング配合錠	メトホルミン塩酸塩	⑪	—	ヒスロン	メドロキシプロゲステロン	㉑	—
イフエンプロジル	イフエンプロジル酒石酸塩	⑯	⑯	ヒスロンH	メドロキシプロゲステロン	㉑	—
イブジラスト	イブジラスト	⑯	⑯	ビピアント	バゼドキシフェン	⑮	—
ウェールナラ	ホルモン配合剤	㉐	—	ファボワール錠	低容量ビル	⑩	—
ウトロゲスタン	プロゲステロン	㉘	—	ファモタ配合錠A	アスピリン	⑦	⑦
エクメット配合錠HD	メトホルミン塩酸塩	⑩	—	フェアストン(40、60)	トレミフェン	㉕	㉕
エクメット配合錠LD	メトホルミン塩酸塩	⑦	—	フェンロデックス筋注	フルペストラント	㉖	㉖
エストラーナ	エストラジオール	㉔	—	フォシーガ	ダバグリフロジン	⑩	—
エストラサイト	エストラムスチン	㉔	—	プロホルミン塩酸塩	プロホルミン塩酸塩	㉓	—
エストリール	エストリオール	㉔	—	プラザキサ	ダビガトラン四テキシラート	③	③
エバデール	イコサベント酸口チル	⑯	⑯	プラノバール	ホルモン配合剤	㉑	—
エバデールEM	イコサベント酸口チル	⑯	⑯	プラビックス	クロビドグレル	⑨	⑨
エビスタ	ラロキシフェン塩酸塩	㉕	—	フリュエル配合錠LD	ホルモン配合剤	㉗	—
エフィエント	プラスグレル塩酸塩	⑩	⑩	フリュエル配合錠ULD	ホルモン配合剤	㉙	—
エフメノ	プロゲステロン	㉘	—	ブリリンタ	チカグレロル	⑪	⑪
エリキュース	アビキサバン	⑥	⑥	ブレタール	シロスタゾール	⑫	⑫
オバルモン	リマプロストアルファデクス	㉓	㉓	ブレマリン	結合型エストロゲン	㉙	—
オメガ-3脂肪酸エチル	オメガ-3脂肪酸口チル	⑯	⑯	プロサイリン	ベラプロストナトリウム	⑮	⑮
カナグル	カナグリフロジン	㉔	—	プロセキソール	エチニルエストラジオール	㉔	—
カナリニア配合錠	カナグリフロジン	㉔	—	プロペラ	メドロキシプロゲステロン	㉚	—
キャブピリン配合錠	アスピリン	⑦	⑦	ヘバリンカルシウム皮下注	ヘバリンカルシウム	②	②
グリコラン	メトホルミン塩酸塩	㉗	—	ベラサスLA	ベラプロストナトリウム	⑮	⑮
クロビドグレル	クロビドグレル	⑨	⑨	ベラプロストNa	ベラプロストナトリウム	⑮	⑮
ケアードロLA	ベラプロストナトリウム	㉕	㉕	ベルサンチン	ジビリダモール	㉛	㉛
ケタス	イブジラスト	⑯	⑯	ホーリン	エストラジオール	㉔	—
コメリアン	ジラゼブ塩酸塩固形物	㉗	㉗	マーべロン	低容量ビル	㉓	—
コンプラビン配合錠	クロビドグレル/アスピリン	⑨/⑦	⑨/⑦	メタト配合錠HD	メトホルミン塩酸塩	㉗	—
サアミオン	ニセルゴリン	㉖	㉖	メタト配合錠LD	メトホルミン塩酸塩	㉗	—
サルボグレラート	サルボグレラート塩酸塩	⑯	⑯	メトアナ配合錠HD	メトホルミン塩酸塩	㉗	—
ジェミニー配合錠	ホルモン配合剤	㉗	—	メトアナ配合錠LD	メトホルミン塩酸塩	㉗	—
ジビリダモール	ジビリダモール	㉛	㉛	メトグルコ	メトホルミン塩酸塩	㉗	—
ジベトス	プロホルミン塩酸塩	㉕	—	メトホルミン塩酸塩	メトホルミン塩酸塩	㉗	—
ジャディアンス	エンバグリフロジン	㉔	—	メドロキシプロゲステロン(2.5、5)	メドロキシプロゲステロン	㉙	—
ジュリナ	エストラジオール	㉔	—	メドロキシプロゲステロン(200)	メドロキシプロゲステロン	㉛	—
ジラゼブ	ジラゼブ塩酸塩固形物	㉗	㉗	メノエイド	ホルモン配合剤	㉔	—
シロスタゾール	シロスタゾール	㉒	㉒	ヤーズ	ホルモン配合剤	㉛	—
シンフェーズT	低容量ビル	㉓	—	ヤーズフレックス	ホルモン配合剤	㉛	—
スーグラ	イブラグリフロジン	㉔	—	ラベルフィーユ	低容量ビル	㉓	—
スージャス配合錠	イブラグリフロジン	㉔	—	ラロキシフェン塩酸塩	ラロキシフェン塩酸塩	㉓	—
セロクラール	イフェンプロジル酒石酸塩	㉗	㉗	リクシアナ	エドキサバン	⑤	⑤
タケルダ配合錠	アスピリン	⑦	⑦	リマプロストアルファデクス	リマプロストアルファデクス	㉛	㉛
タモキシフェン	タモキシフェン	㉔	—	ル・エストロジェル	エストラジオール	㉔	—
チクロビジン	チクロビジン塩酸塩	⑧	⑧	ルセフィ	ルセオグリフロジン	㉛	—
ディビゲル	エストラジオール	㉔	—	ルティナス腔錠	プロゲステロン	㉛	—
デベルザ	トホグリフロジン	㉔	—	ルテウム腫用坐剤	プロゲステロン	㉛	—
デュファストン	ジドロゲステロン	㉔	—	ルトラール	クロルマジノン	㉛	—
トラディアンス配合錠	エンバグリフロジン	㉔	—	ルナベル配合錠LD	ホルモン配合剤	㉛	—
トラビジル	トラビジル	㉛	㉛	ルナベル配合錠ULD	ホルモン配合剤	㉛	—
トリキュラー	低容量ビル	㉓	—	ロコルナール	トラビジル	㉛	㉛
ドルナ	ベラプロストナトリウム	㉕	㉕	ロトリガ	オメガ-3脂肪酸口チル	㉔	㉔
ニセルゴリン	ニセルゴリン	㉖	㉖	ロレアス配合錠	クロビドグレル/アスピリン	⑨/⑦	⑨/⑦
ニトギス配合錠A	アスピリン	⑦	⑦	ワーファリン	ワルファリン酸リウム	①	①
ノアルテン	ノルエチステロン	㉔	—	ワルファリンK	ワルファリン酸リウム	①	①
ノルバデックス	タモキシフェン	㉔	—	ワンクリノン腔用ゲル	プロゲステロン	㉛	—

薬剤対応一覧表(薬効順)

医薬品の一般名		出血に注意が必要な薬剤一覧(商品名)
凝 抗 集 血 剤 液	ワルファリンカリウム	ワーファリン、ワルファリンK
	ヘパリン	ヘパリンカルシウム皮下注
	ダビガトラン エテキシラート	プラザキサ
	リバーコキサバン	イグザレルト
	エドキサバン	リクシアナ
	アピキサバン	エリキュース
血 小 板 凝 集 抑 制 剤	アスピリン	アスピリン腸溶錠、アスファネット配合錠A、コンプラビン配合錠、タケルダ配合錠、ニトギス配合錠A、バイアスピリン、バッサミン配合錠A、バファリン配合錠A、ファモター配合錠A、ロレアス配合錠、キャブピリン配合錠
	チクロビジン塩酸塩	バルジン、チクロビジン
	クロビドグレル	コンプラビン配合錠、クロビドグレル、プラビックス、ロレアス配合錠
	プラスグレル塩酸塩	エフィエント
	チカグレロール	ブリリント
	シロスタゾール	シロスタゾール、プレタール
	イコサベント酸エチル	イコサベント酸エチル、エパデール、エパデールEMカプセル
	オメガ-3脂肪酸 エチル	ロトリガ、オメガ-3脂肪酸エチル
	ペラプロスト ナトリウム	ケアロードLA、ペラサスLA、ドルナー、プロサイリン、ペラプロストNa
害 脳 改 血 善 管 剂 障	サルボグレラート 塩酸塩	アンプラー、サルボグレラート
	イフェンプロジル 酒石酸塩	イフェンプロジル、セロクラール
	ニセルゴリン	サミオン、ニセルゴリン
冠 血 管 拡 張 剤	イブジラスト	ケタス、イブジラスト
	トラピジル	トラピジル、ロコルナール
	ジピリダモール	ジピリダモール、ペルサンチン
	ジラゼブ塩酸塩 水和物	コメリアン、ジラゼブ
張 括 管	トリメタジン 塩酸塩	バスタレルF
	リマプロスト アルファデスクス	オパルモン、リマプロストアルファデクス

医薬品の一般名		血栓症に注意が必要な薬剤一覧(商品名)
抗 癌 剤	タモキシフェン	タモキシフェン、ノルバデックス
	トレミフェン	フェアストン(40、60)
	フルベストラント	フェソロデックス
黄 体 ホ ル モ ン 製	プロゲステロン	エフメノ、ルティナス、ウトロゲスタン、ワンクリノン、ルテウム
	ジドロゲステロン	デュファストン
	メドロキシ プロゲステロン	ヒスロン、ヒスロンH、プロベラ、メドロキシプロゲステロン(2.5、5)、メドロキシプロゲステロン(200)
	クロルマジノン	ルトラール
	ノルエチステロン	ノアルテン
卵 胞 ホ ル モ ン	エストラムスチン	エストラサイト
	エチニル エストラジオール	プロセキソール
	エストラジオール	エストラーナ、ジュリナ、ル・エストロジェル、ディビゲル
	エストリオール	エストリール、ホーリン
	結合型エストロゲン	ブレマリン
卵胞ホルモン製剤・配合剤		ウェールナラ、メノエイド、プロノバール、ヤーズ、ヤーズフレックス、ルナベル配合錠LD、ルナベル配合錠ULD、フリュエル配合錠LD、フリュエル配合錠ULD、ジェミーナ
低容量ピル		アンジュ、シンフェーズT、トリキュラー、ファボワール、マーベロン、ラベルフィーユ
S M E R	バゼドキシフェン	ビビアント、バゼドキシフェン
	ラロキシフェン 塩酸塩	エビスタ、ラロキシフェン

医薬品の一般名		乳酸アシドーシスに注意が必要な薬剤一覧(商品名)
ナビ 製 イグ 剤 ドア	メトホルミン 塩酸塩	イニシング配合錠、エクメット配合錠LD、エクメット配合錠HD、グリコラン、メタクト配合錠LD、メタクト配合錠HD、メトアナ配合錠LD、メトアナ配合錠HD、トグルコ、メトホルミン塩酸塩
	ブホルミン塩酸塩	ジベトス、ブホルミン塩酸塩
医薬品の一般名		SGLT-2阻害薬(商品名)
S G 害 L 薬 T 2 阻	イブラグリフロジン	スーグラ、スージャヌ配合錠
	ダバグリフロジン	フォシーガ
	ルセオグリフロジン	ルセフィ
	トホグリフロジン	デベルザ
	カナグリフロジン	カナグル、カナリア配合錠
	エンバグリフロジン	ジャディアンス、トラディアンス配合錠
	青字:院外採用薬	赤字:院内採用薬

\*循環動態に影響を及ぼすとされるβ遮断薬、αβ遮断薬、ACE阻害薬、ARB、利尿薬等は一覧には含んでいません  
※ヨード造影剤使用の際はビゲアナイド製剤を処置前後48時間中止(放射線部管理のヨード造影剤問診票参照)  
※採用状況は2023年8月現在のものです